

令和5年度 神戸県民センター 主要施策（地域躍動推進費予算）の概要

令和5年2月



神戸県民センター 施策別の地域躍動推進費予算（案）

事業のスクラップ・アンド・ビルドを行いつつ、
ウィズコロナでの地域活性化を促す

（単位：百万円）

施策名	R5(案)
I アート・自然・歴史を生かした交流	42
1 アートとふれあうまちづくり	(18)
2 自然を生かした活力づくり	(14)
3 歴史遺産を生かした賑わいづくり	(10)
II 農都・神戸の推進	5
III 安心と持続の地域づくり	25
計	72



主な新規・拡充事業

I アート・自然・歴史を生かした交流

1 アートとふれあうまちづくり

- ①神戸ジャズ100周年記念事業の実施
- ②ミュージアムロードの魅力発信事業の展開

2 自然を生かした活力づくり

- ①六甲山フォトロゲイニングの開催
- ②六甲山みどころツアーの実施

3 歴史遺産を生かした賑わいづくり

次代につなぐ湊川隧道の利活用と基盤整備

II 農都・神戸の推進

- ①肥料の地産地消「神戸コンポスト」開発プロジェクト
- ②アグリDX神戸モデルの推進

III 安心と持続の地域づくり

異文化交流会の開催



I-1 アートとふれあうまちづくり

①神戸ジャズ100周年記念事業の実施

日本初のプロバンドが神戸でジャズを演奏して100周年を迎えることを記念し、市内全域においてジャズイベントを開催するなど、さらに「ジャズのまち神戸」をPRするとともににぎわいを創出する。

1 次世代ジャズミュージシャンの育成

「まちかどジャズライブ～高校生ビッグバンドon stage(仮)～」 の開催 (新規) (1,930千円)

高校生がプロとセッション演奏する機会を持つことで刺激を受けることにより、これからの神戸ジャズを牽引する次世代の育成につながるライブを開催

- ・開催時期 令和5年9月24日(日)
- ・開催場所 神戸ハーバーランドスペースシアター

2 市内全域でのジャズコンサートの展開 (新規) (3,300千円)

神戸市と協働し、DC期間(7～9月)を中心に市内全区でジャズイベントを実施



兵庫津ジャズライブ



1 DAY JAZZ ROAD

※DC：兵庫デスティネーションキャンペーン

	時期	場所
1	5月28日	須磨離宮公園(須磨区)
2	6月11日	市営地下鉄西神車両基地(西区)
3	7月1日	DUO神戸(中央区)
4	7月24日	垂水区役所ロビー
5	7月24日	長田区役所サロン
6	8月4日	有馬温泉 親水公園(北区)
7	10月	兵庫津周辺(兵庫区)
8	10月28日 又は29日	六甲アイランドリバーモール公園 (東灘区)
9	11月	ミュージアムロード周辺(灘区)

【参考】「神戸ジャズ100周年記念事業」の概要

※「ジャズの街神戸」推進協議会資料より

1 取組の方向性

- (1) 「ジャズの街神戸」の浸透・・・JR「兵庫デスティネーションキャンペーン」とも連携
- (2) ジャズの裾野の拡大・・・ジャズにあまり関わりがなかった人へのアプローチが中心
- (3) 取組の継続・・・持続・発展的な『ジャズ人口』増加の仕組みを構築

2 取組の概要

(1) 神戸ジャズ100周年記念イベント

- ① 「新開地音楽 + KOBE-JAZZ100th」 5月13日、14日
- ② 「上陸100周年ハーバージャズナイト(仮)」(9月頃予定)

(2) ジャズによる街の賑わい創出

- ① 街に飛び出すジャズ・・・ストリートライブ、既存イベントと連携したコンサート
学校等へのジャズアーティストの派遣
- ② 街に流れるジャズ・・・公共交通機関や地下街等でのBGM放送、
飲食店等での生演奏・BGM放送
- ③ 街で目にするジャズ・・・主要駅等でのポスター等の掲示、リーフレットの設置

JAZZ CITY KOBE 100th anniversary

これからいいジャズをいい街で
神戸のジャズが100周年を迎えます

いいジャズをいい街で

2023年、神戸のジャズは100周年を迎えます。
神戸では、これまでもライブハウスをはじめ、
個性豊かで非日常感あふれるジャズイベントが
至るところで開催されてきました。

100周年という大きな節目の年を迎え、
記念イベントやまちなかのライブなど、
様々な取り組みを通して、より身近にジャズに触れながら
神戸の街全体でジャズ100周年を盛り上げます。

今までジャズに馴染みがない・・・
という初めての方も、これを機に、
気軽にジャズの世界に飛び込んでみませんか？

みんなで神戸のジャズを発信しよう！
#KOBEJAZZ100

神戸とジャズの歴史 History
1923年、バイオリン奏者の井田一郎が「ラフィングスターズ」を結成し、
日本で初めてプロバンドとして神戸でジャズを演奏しました。
神戸が「ジャズ発祥の地」と呼ばれるゆえんがここにあります。

神戸ジャズ100周年 特設サイト /
「KOBE-JAZZ 100th」
<https://kobe-jazz100th.jp>

I-1 アートとふれあうまちづくり

②ミュージアムロードの魅力発信事業の展開

県立美術館（HAT神戸）を核とするミュージアムロード周辺のパブリックアートをはじめ、六甲山と海に囲まれた観光資源を生かし、地域のにぎわいを創出する。

「ミュージアムロードの魅力体感！めぐるアート(仮)」の開催 (新規) (1,000千円)

1 アート作品を巡るクイズラリーの開催

パブリックアートを巡ってまち歩きしながらアートを身近に感じるクイズラリーを実施

- ・開催時期 令和5年11月
(1 DAY JAZZ ROADに合わせて開催)
- ・開催場所 ミュージアムロード周辺

2 ガイドツアー&ワークショップの開催

アートの作者による作品解説のツアーや若い世代が気軽にアートを楽しめるワークショップを実施

- ・開催時期 令和5年度 下期
- ・開催場所 県立美術館（予定）



I-2 自然を生かした活カづくり

①六甲山フォトロゲイニングの開催

「自然」と「観光」を掛け合わせたスポーツ「フォトロゲイニング」を六甲山上で開催することによって、六甲山全体の活性化につなげるとともに、2025年大阪・関西万博にむけて六甲山の魅力を発信する。

六甲山フォトロゲイニングの開催（新規）（1,000千円）

六甲山ビジターセンターを基点に、六甲山上施設にチェックポイントを設置し、山上施設を周遊

- ・ 内容
 - 得点が記載されたチェックポイントを回り、写真を撮影し、得点を獲得する
 - 制限時間内に得点を集め、合計得点で順位を競う
 - 2名以上で構成されたチーム対抗で実施する
 - 合計得点の上位チームには、賞品等を授与予定
- ・ 実施時期
令和5年9月頃（予定）



フォトロゲイニング
イメージ

I-2 自然を生かした活力づくり

②六甲山みどころツアーの実施

六甲山の茶屋等を巡るツアーを実施することで、六甲山の歴史を学ぶとともに六甲山に親しむ機会を提供し、2025年大阪・関西万博にむけて、六甲山の魅力を発信する。

六甲山みどころツアーの実施（新規）（950千円）

六甲山の歴史ある茶屋をめぐる「茶屋めぐりツアー」や、廃墟の女王と呼ばれる摩耶観光ホテルでの「潜入ツアー」等を通じて、六甲山の成り立ちや文化等を学ぶ（年4回程度実施）

・実施方法

- ツアーの中で、六甲山に詳しい「山の案内人の会」等のガイドや茶屋の主人など関係者から話を聞く
- 茶屋等のガイドマップの作成

・対象者

登山初心者、これから登山を始めようとする者15名／1回



六甲山系に点在する茶屋



国登録有形文化財
「旧摩耶観光ホテル」

I-3 歴史遺産を生かした賑わいづくり

次代につなぐ湊川隧道の利活用と基盤整備

「地域の宝」である湊川隧道を、2025年大阪・関西万博を契機に実施するひょうごフィールドパビリオンとして活用するため、保存とさらなる魅力発信を両立させ、次代へ引き継いでいく。

1 ガイド養成講座（新規）（350千円）

湊川隧道を次代へ引き継いでいくため、ガイド養成講座を開催し、隧道の歴史や営みを伝えるボランティアガイドの確保を図る

2 施設設備の整備（新規）（1,200千円）

隧道内にWi-Fiの通信機器を新たに整備し、湊川隧道のオンラインツアーや万博会場とのリモートミーティングの導入を目指す

3 定期一般公開（1,700千円）

- ・毎月1回、第3土曜日に開催
- ・トンネル内でミニコンサート等を実施

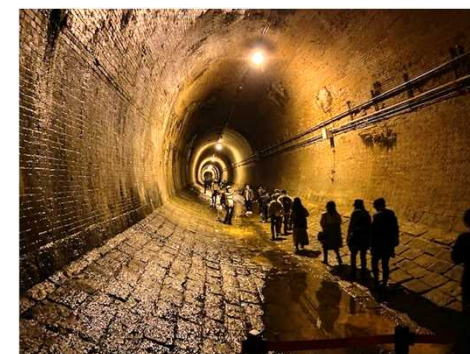
4 通り抜けイベント（1,900千円）

- ・毎年1回、土木の日がある11月に開催
- （実績）【コロナ対応により事前申し込み】

R2：約1,400人、R3：約1,700人、R4：約1,800人



概要説明の状況



通り抜けイベント(R4)

通り抜けイベント参加者の声

- ・説明を聞いて新たな発見があり、楽しかった。
- ・土木技術に改めて感心しました。
- ・子供にも良い体験学習ができた。

Ⅱ 農都・神戸の推進

① 肥料の地産地消「神戸コンポスト」開発プロジェクト

家畜堆肥など神戸の豊富な地域資源を活用した肥料の開発や供給体制を構築することにより、安定的で持続的な肥料の確保と化学肥料の使用低減を進め、資源循環型農業の確立を図る。

肥料の地産地消「こうべコンポスト」開発プロジェクト

(新規) (1,500千円)

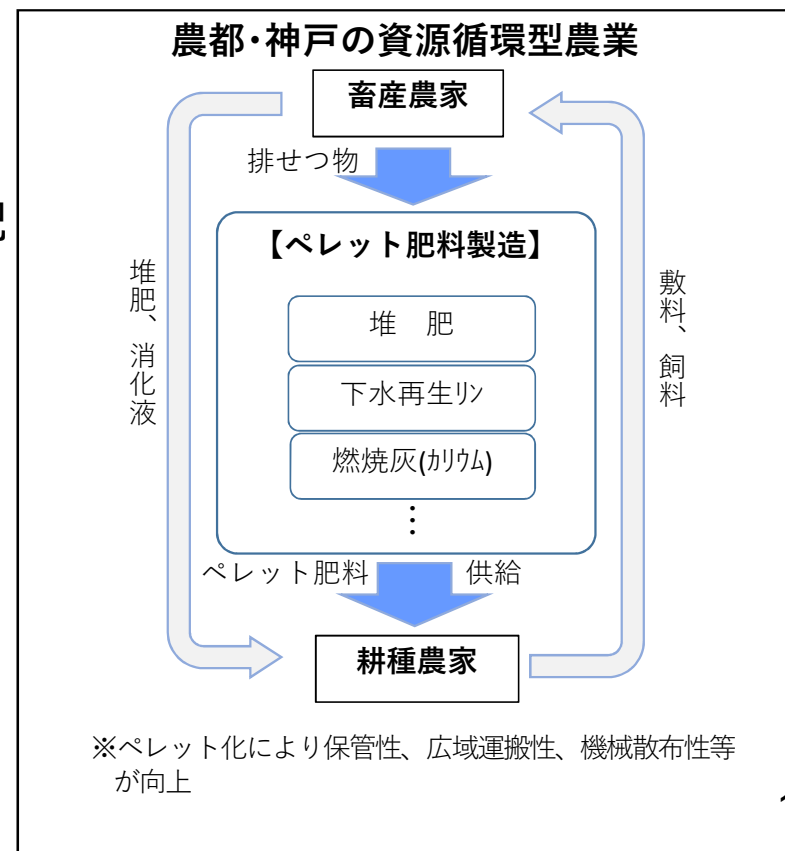
1 地域内資源フル活用による資源循環型農業モデルの確立

- ・家畜堆肥と下水再生リンなど地域内調達可能な資源との混合堆肥複合肥料の開発
- ・新規肥料を活用した資源循環型農業モデル実証ほの設置

2 緑肥等活用による化学肥料使用低減の推進

土壌診断、緑肥活用等との組み合わせによる化学肥料低減技術導入による実証ほの設置

- ・事業期間：令和5年度～7年度
- ・実施主体：農協、集落営農組織、農業者等



Ⅱ 農都・神戸の推進

②アグリDX神戸モデルの推進

AIやICTなどの先端技術を活用した農業「アグリDX」の普及を進め、生産の効率化や農産物の高品質化、担い手の育成を図る。

1 ICT技術を活用した神戸産「山田錦」の品質向上 (150千円)

モデルほ場に水位・水温・気象センサーを設置し、栽培管理で重要なほ場の水管理や気象のデータを活用することで、品質の高い「山田錦」栽培を推進

・事業期間 令和5年度～7年度

2 ドローンの活用による集落営農組織の強化 (拡充) (500千円)

集落営農組織におけるドローンによる省力的な適期防除を推進し、農産物の品質と所得向上を目指す

・事業期間 令和4年度～6年度

3 ICT技術導入による果樹産地強化 (400千円)

自動草刈りロボットによる雑草管理の省力化技術モデルを確立し、生産者の負担軽減を図り、果樹産地の活力を強化

・事業期間 令和4年度～6年度



水位センサー



自動草刈りロボット

Ⅲ 安心と持続の地域づくり

外国にルーツを持つ多国籍住民による文化交流会の開催

多国籍の住民が居住する新長田地域の立地を活かし、お互いの歴史や文化、食など、豊かで個性的な地域の魅力を発信し、様々な文化の違いを理解し合える交流の場を提供する。

異文化交流会の開催（新規）（360千円）

新長田近隣に居住するミャンマー、韓国、ベトナム、インド、中国等の移住者や留学生と協働し、異なる文化への理解を深めるイベントを開催

- ・ 対象者 神戸市内在住・在勤の方(子ども含む)
- ・ 実施場所 神戸生活創造センターキッチン、ギャラリー、講座研修室等
- ・ 実施時期 年2回(夏休み・冬休み期間を想定)



キッチン



講座研修室



異文化交流会イベントイメージ

神戸県民センター 主要施策担当部署一覧

職名	氏名	連絡先	担当施策(スライド番号・施策番号・施策名)
センター長	大久保 和代	647-9101	
副センター長兼県民交流室長	竹森 俊策	647-9102	
県民交流室次長	有吉 智香	647-9103	
神戸魅力づくり参事	松岡 倫子	647-9104	P4-6・I-1 アートとふれあうまちづくり P7-8・I-2 自然を生かした活力づくり P12・III 安心と持続の地域づくり
神戸農林振興事務所長	永田 学	742-8310	P10・II ①肥料の地産地消「神戸コンポスト」開発プロジェクト
神戸農業改良普及センター所長	澁谷 幾夫	965-2102	P10・II ①肥料の地産地消「神戸コンポスト」開発プロジェクト P11・II ②アグリDX神戸モデルの推進
神戸土地改良センター所長	土井 義暢	742-8360	
六甲治山事務所長	竹下 洋一	742-8420	
神戸土木事務所長	八木下 徹	737-2380	P9・I-3 歴史遺産を生かした賑わいづくり



本庁各部の主要施策（神戸地域関連）

部	主要施策
I 持続的に発展する兵庫経済の構築	(拡) 起業プラザひょうごの設置・運営 (産業労働部) (新) 外国人留学生に対する県内企業の魅力発信 (産業労働部)
	(新) 耕畜連携の推進 (堆肥ペレット化施設等の農産物・飼料の増産に向けた環境整備) (農林水産部)
II 魅力あふれる地域・交流圏の形成	(新) 大阪・関西万博に向けた兵庫棟(仮称)・兵庫県立美術館展示企画 (企画部)
	(新) 元町周辺再整備ランドデザイン等の検討 (総務部)
	高規格道路の整備推進 (大阪湾岸道路西伸部) (土木部)
	(拡) 舞子公園の活性化 (Park-PFI事前調査、多言語デジタルガイドの導入) (まちづくり部)
III 希望と温かさに満ちた社会づくり	(新) 県立学校環境充実事業の実施(R5～R10) (教育委員会事務局)
IV 安全安心基盤の強化	(新) 県立病院におけるWi-Fiの整備 (ひょうごこころの医療センター(北区)、こども病院(中央区)、リハビリテーション中央病院(西区)) (病院局)
	(新) AI技術を活用した捜査機能の強化 (警察本部)
	(拡) 地域防犯体制強化事業 (防犯カメラ設置補助事業等) の実施 (県民生活部)
	(新) 防災ツーリズムの推進 (神戸・阪神地区でのモニターツアーの実施) (危機管理部)